

理事長のあいさつ

当所は、独立行政法人として発足以降、所運営の根幹となる3つの基本理念と5つの行動規範を職員一同で共通し、我が国の海上輸送の安全確保、高度化等、国土交通政策に貢献するために質の高い研究成果を提供することにより中期計画の達成に向けて取り組んで参りました。ここに平成17年度の研究活動状況をご報告申し上げます。

H17年度は、第1期中期計画の最終年度であり、次期中期計画に向けて極めて大切な節目の年であり、所員一丸となって、さらに高い次元での中期計画の達成を目指すとともに、次期中期計画を視野に入れ、次の3点を重点的に実行して参りました。

● 社会・行政ニーズに対応した研究への重点化

国から頂いた研究リソースの中で社会・行政ニーズに最大限に応えることができるよう、研究テーマの選別を行っていきます。

● 知的財産の創造とその発信源

研究ポテンシャルを引き上げるため、質の高い研究成果を得るため、基盤研究に研究資源の20%以上を投入します。

また、研究の実施に当たっては、他の機関との連携を強化し、幅広いニーズに合った研究テーマを発掘します。そして、これらの研究を含め、研究開発で得られた知的財産を発信することで、海事分野における中核的研究開発機関となるよう努めます。

● 成果の社会還元

海事関連企業の方々がお持ちの懸案について、当研究所から解決方法を提案させて頂く「技術サポートプログラム」により、研究成果の社会還元を積極的に行っていきたいと考えています。その際、アフターサービスを充実させ、研究成果の社会還元の質を高めていきたいと考えています。

上記の3つの重点項目を実施するため、職員一人一人が常に自己研鑽に怠りなく、第一期中期計画の確実な達成を目指すとともに、次期中期計画に向けた新たな取り組み及び人材の育成にチャレンジして参りました。この年報をご覧になって、皆様の一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成18年9月

独立行政法人 海上技術安全研究所
理事長 中西 堯二